

科目名 地域産業クラスター特論 (2単位)

担当者氏名 黒瀧 秀久

◆学習・教育目標

産業クラスター論はアメリカの経営学の泰斗であるマイケル・ポーターが国の比較競争優位をつくり出す重要な要因として産業クラスターの存在を抽出したことに発し、現在ではその一定の実践的有効性が認知されている。本講義では、いかなる客体的・主体的条件が備わることによって、それが形成・発展を遂げ、地域に定着するかを理解させることを学習・教育目標とする。講義においては、地域産業クラスター論を理論・歴史・政策の各側面において考究する。日本における産業クラスター政策の導入は北海道から始まったことにかんがみ、北海道のとりくみをやや丁寧に見るとともに、日本各地の事例としては地方圏に目くばりをし、最終的にはオホーツク地域の産業クラスターの新展開への示唆を得ることを重視する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

産業クラスター	国の比較優位	川上産業	川下産業
サプライ・チェーン(供給連鎖)	シリコン・バレー	オウル・モデル	

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1回	地域産業クラスター論の概要 (担当 黒瀧秀久)		受講者の研究テーマとのすりあわせを考慮して講義を進めたい
2回	地域産業クラスター論の意義と課題 (担当 黒瀧秀久)		
3-5回	地域産業クラスターの形成過程 (担当 黒瀧秀久)	①日本 ②スウェーデン ③アメリカ	
6-8回	北海道における地域産業クラスター政策の展開 (担当 黒瀧秀久)	①北海道地域産業クラスター計画 ②北海道食産業クラスター計画戦略 ③北海道バイオ産業成長戦略	
9-10回	海外における地域産業クラスター政策の展開 (担当 黒瀧秀久)	①フィンランド ②カナダ	
11-14回	日本における地域産業クラスター政策の展開 (担当 黒瀧秀久)	①TOHOKUものづくりコリドー ②北陸ものづくり創生プロジェクト ③中国の循環・環境型社会形成プロジェクト ④OKINAWA型産業振興プロジェクト	
15回	オホーツク地域における地域産業政策の新展開 (担当 黒瀧秀久)		

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

『国の競争優位』上・下/マイケル・E.ポーター、土岐坤訳/ダイヤモンド社(1992年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義の際に指示する。

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

レポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

---



---



---